

<p>事案名</p>	<p>岡山市（広島陸軍兵器補給廠三軒屋填薬所）の事案（岡山県33-1-1）</p>
<p>フォローアップ調査資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「瓦斯二関スル綴」〔1〕 ・「終戦時各補給廠ノ化学戦弾薬ノ状況」（作成主体、作成年月日は不明）〔2〕 ・「化学戦弾薬及器材調査表」（作成主体、作成年月日は不明）〔3〕 ・Intelligence Report on Japanese Chemical Warfare Volume〔4〕 ・「『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査について」平成15年10月14日〔5〕
<p>追加資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『岡山県郷土部隊史』〔A1〕 ・「自衛隊施設の使用実態等調査書（業務資料）」〔A2〕
<p>平成15年度フォローアップ調査報告書の要約</p>	<p>生産・保有情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終戦時、広島陸軍兵器補給廠三軒屋填薬所には、98式中あか筒203個、100式発射あか筒110個、98式小あか筒100個、98式発射あか筒30個が保有されていた〔1〕〔2〕〔3〕〔4〕。 <p>廃棄・遺棄情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和20年11月18日から24日までに、海没のために広島陸軍兵器補給廠（三軒屋部隊）から中あか筒124個、発射あか筒110個、94式中あか筒60個を搬出したと記載されている〔1〕。 ・昭和20年11月25日から12月1日までに、海没のため、広島陸軍兵器補給廠（三軒屋部隊）から小あか筒100個、中あか筒79個、発射あか筒30個を搬出したと記載されている〔1〕。 <p>現在の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島陸軍兵器補給廠三軒屋填薬所は現在、陸上自衛隊三軒屋駐屯地となっている〔5〕。
<p>新たな情報</p>	<p>その他情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島陸軍兵器補給廠岡山分廠は、昭和17年2月に弾薬科の主力が三軒屋に移転した。3月には敵の空襲に備え、周囲の山に二十数個の洞窟火薬庫が設けられ、その後、鉄道の引込み線や道路も設けられた〔A1〕。 ・昭和17年に洞窟式火薬庫29棟完成との記載がある〔A2〕。

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・広島陸軍兵器補給廠三軒屋填薬所に連合軍が進駐したのは、昭和20年10月であった〔A2〕。・「終戦後所長以下所要の人員が残務整理に残り、在庫品は一たん米進駐軍に引渡し、填薬弾その他危険品は瀬戸内海に投棄した」とされるが、毒ガス弾等に係る情報はない〔A1〕。 |
|--|---|

<p>事案名</p>	<p>岡山市（広島陸軍兵器補給廠岡山分廠）の事案（岡山県 33 - 1 - 2）</p>
<p>フォローアップ調査資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「瓦斯二関スル綴」〔1〕 ・「化学戦弾薬及器材調査表」（作成主体、作成年月日は不明）〔3〕 ・「『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査について」平成15年10月14日〔5〕
<p>追加資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『岡山県郷土部隊史』〔A1〕 ・『平成16年度国内における旧軍毒ガス弾等に係る情報収集及び取りまとめ業務報告書』〔A2〕 ・「『国内における毒ガス弾等に関する調査』の調査依頼について」平成16年2月19日〔A3〕 ・『岡山市史』（戦災復興編）〔A4〕 ・『平成16年度B/C事案における第2次地下水調査業務報告書』〔A5〕
<p>平成15年度フォローアップ調査報告書の要約</p>	<p>生産・保有情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終戦時に広島陸軍兵器補給廠岡山分廠には、中あか筒4個、小あか筒4個、発射あか筒41個、きい剤容器70個が保有されていたと記載されている〔3〕。 <p>廃棄・遺棄情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島陸軍兵器補給廠岡山分廠では、中あか筒4個、小あか筒4個、発射あか筒41個を海没（年不明11月13日）と記載されている〔1〕。 <p>現在の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島陸軍兵器補給廠岡山分廠は、大部分が教育施設の敷地となっている〔5〕。
<p>新たな情報</p>	<p>その他情報</p> <p>（1）広島陸軍兵器補給廠岡山分廠に係る情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大正14年に広島陸軍兵器補給廠岡山出張所が設立され、昭和3年に岡山兵器支廠、昭和14年に岡山陸軍兵器補給廠と改称された。昭和20年4月には主力の香川県への移転に伴い、三軒屋の部隊以外は、広島陸軍兵器補給廠岡山分廠となった〔A1〕。 ・戦後処理については、「終戦後、危険な空包薬、火具、小銃、拳銃、機関銃、実包、兵器廠以外の三軒屋及び常駐班所在地の火薬類は、米軍監督の下に宇野港に送り航送船で大槌島付近の海中に投棄処分した」と記載されているが、「あか

	<p>筒」や「きい剤容器」についての記載はない〔A1〕。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧広島陸軍兵器補給廠岡山分廠跡地には、現在県公舎〔A2〕、教育施設がある〔A2〕〔A3〕〔A4〕。 <p>(2) 岡山県及び岡山市が実施した環境調査に係る情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山県及び岡山市は、平成15年11月から12月にかけて、広島陸軍兵器補給廠岡山分廠跡周辺5ヶ所で井戸水の調査(総ヒ素、硫黄マスタード、エチレンチオグリコール)を行った。その結果、総ヒ素は、1地点で環境規準値の0.01mg/lを超えていたが(0.016mg/l)、有機ヒ素と無機ヒ素の分別分析を行った結果、有機ヒ素は検出されなかった(<0.005mg/l)(有機ヒ素・無機ヒ素の分析は、茨城県衛生研究所の方法で平成15年12月9日に実施)。また、硫黄マスタード、エチレンチオグリコールは、検出されなかった(硫黄マスタード<0.0002mg/l、エチレンチオグリコール<0.0002mg/l)〔A3〕。 ・環境省が実施した地下水調査の結果、毒ガス関連成分は検出されなかった〔A5〕。
--	--